

大津地裁決定を評価

嘉田前知事が小浜で講演

原発の廃炉を求める「さよなら原発福井集会2016 in 小浜」が十三日、小浜市大手町の市文化会館で開かれ、卒原発を提唱した嘉田由紀子・前滋賀県知事の講演に参加者約六百人が聴き入った。

嘉田氏は、関西電力高浜



高浜原発3、4号機の差し止めを命じた大津地裁の決定を評価し、脱原発を訴える嘉田由紀子・前滋賀県知事＝小浜市文化会館で

原発3、4号機（高浜町）の運転差し止めを命じた九日の大津地裁決定について「（事故時に放射線に汚染される）『被害地元』の人間の意思をきちんとみてもらえた。提訴の当事者の幅が広がった」と評価した。また、地裁が広域避難計

画の実効性を疑問視したことに「避難計画は自治体がつくれと言っけども、無理なんです、自治体だけでは」と同意。知事時代に、事故発生時のヨウ素剤の配布やバス運転手確保が極めて困難なことを実感した経験を紹介した。

さらに「琵琶湖の水は、関西の千四百五十万人に届けられている」と指摘し、事故で琵琶湖が汚染されるリスクが膨大であることを訴えた。

集会は、福島第一原発事故を受け、脱原発の機運を高めようと、市民らでつくる実行委が毎年県内各地で開催している。（平井孝明）